

県北 どらくろあ

第15号 2017年6月1日（毎月1日発行）

県北現代小史②

「山里民生委員物語」後編

「朝早くから電話がかかってきて、泥棒が入ったというんですよ」

民生委員をつとめていたAさんは、苦笑を浮かべながら、
「お早朝、お電話が来たよ。泥棒が入ったよ、って。びっくりしたよ。」

「朝早くから電話がかかってきて、泥棒が入ったというんですよ」
Aさんは、苦笑を浮かべながら、
「お早朝、お電話が来たよ。泥棒が入ったよ、って。びっくりしたよ。」

「朝早くから電話がかかってきて、泥棒が入ったというんですよ」

「朝早くから電話がかかってきて、泥棒が入ったというんですよ」

「朝早くから電話がかかってきて、泥棒が入ったというんですよ」

「朝早くから電話がかかってきて、泥棒が入ったというんですよ」

「朝早くから電話がかかってきて、泥棒が入ったというんですよ」

「朝早くから電話がかかってきて、泥棒が入ったというんですよ」

「朝早くから電話がかかってきて、泥棒が入ったというんですよ」

「朝早くから電話がかかってきて、泥棒が入ったというんですよ」

寿山五朗「五月の田園」(1990年 水彩画)



「朝早くから電話がかかってきて、泥棒が入ったというんですよ」
Aさんは、苦笑を浮かべながら、
「お早朝、お電話が来たよ。泥棒が入ったよ、って。びっくりしたよ。」

「朝早くから電話がかかってきて、泥棒が入ったというんですよ」
Aさんは、苦笑を浮かべながら、
「お早朝、お電話が来たよ。泥棒が入ったよ、って。びっくりしたよ。」

「朝早くから電話がかかってきて、泥棒が入ったというんですよ」

「朝早くから電話がかかってきて、泥棒が入ったというんですよ」

「朝早くから電話がかかってきて、泥棒が入ったというんですよ」

「朝早くから電話がかかってきて、泥棒が入ったというんですよ」

「朝早くから電話がかかってきて、泥棒が入ったというんですよ」

「朝早くから電話がかかってきて、泥棒が入ったというんですよ」

「朝早くから電話がかかってきて、泥棒が入ったというんですよ」

「朝早くから電話がかかってきて、泥棒が入ったというんですよ」

「朝早くから電話がかかってきて、泥棒が入ったというんですよ」

「朝早くから電話がかかってきて、泥棒が入ったというんですよ」

「朝早くから電話がかかってきて、泥棒が入ったというんですよ」

「朝早くから電話がかかってきて、泥棒が入ったというんですよ」

「朝早くから電話がかかってきて、泥棒が入ったというんですよ」

「朝早くから電話がかかってきて、泥棒が入ったというんですよ」

「朝早くから電話がかかってきて、泥棒が入ったというんですよ」

「朝早くから電話がかかってきて、泥棒が入ったというんですよ」

「朝早くから電話がかかってきて、泥棒が入ったというんですよ」

「朝早くから電話がかかってきて、泥棒が入ったというんですよ」

取ることができた。

自分の手に余ることは周囲の人に手助けしてもらった。毎月開催される区域の民生委員・児童委員協議会の定例会で、助言や助力を求めたこともある。市の福祉課や社会福祉協議会のメンバーとも緊密に連絡を取り合っていた。

「一人で背負うと重いからね」

民生委員の任期は三年、Aさんは三期九年つとめた。退任して十年近くの歳月が流れているが、「大変なこともあったけど、誰かがやらんといけん仕事じゃけえ」。柔和な笑みがとても眩く見えた。

民生委員法第十四条で民生委員の職務が規定されているが、その活動は個々の民生委員の判断に委ねられている部分も多いという。

民生委員になるには、市区町村に設置された民生委員推薦会の選考を経ることが必要だ。かつての名誉職の社会奉仕というイメージから、ボランティア活動の色彩が強くなっていく。全国的に後継者難だが、とくに過疎地では高齢化が進み、後任探しが難しい。今後の大きな課題である。

大正六年、岡山県で創設された済世顧問制度から百年。今年は、民生委員制度創設百周年の節目の年である。

図書館員ノート ⑩

「としよかんは動く」

六月は私にとって図書館員としてスタートした記念すべき月である。

図書館業務は多岐にわたるとは聞いていたが、この一年、活動内容の幅広さに驚くとともに、あわただしく過ぎていった。

図書館の職員は基本的には室内で



の勤務が主だが、実は屋外での活動もゼロではなく、そのひとつに移動図書館がある。

図書館のようになくさんの本を積んで走るトラック型の車、その名も「こころぶつくる号」。図書館員の間では「ころちゃん」の愛称でも呼ばれている。

この「ころちゃん」は、荷台部分を開くと左右が本棚のようになっている。絵本や児童向けから料理・農業など様々な本を並べ、毎月三次市内の小学校やコミュニティセンターなどを巡回して本の貸出を行う。

初めて移動図書館で行った先では、ただただ貸出と返却をこなすことに必死だったが、次第に貸出処理の際に言葉を交わし、本を吟味されているところに声をかけ、というように、少しずつではあるが利用者とのコミュニケーション

の幅が広がってきた。

返却の際に「この本おもしろかったよー」と笑顔で感想をくれる子どもたちには、次もこの顔が見たい！と思うし、「小説をあまり読んだことない」と言われるママさんには、まずは読みやすい本をと思い薦めてみる。

普段の図書館とは違った雰囲気、本の見え方も違うらしい。「こんな本もあるんじゃないか」と言われることも。

三次市立図書館では毎月同じ職員が同じ場所へ行くわけではないが、次に行ったときに感想を聞いてみよう、今度はこんなのかなあ、と考えると、またひとつやる気と楽しみが増える。

宝探し気分です。今まで知らなかった新しい本に出会い、どこかのタレントのように「本の宝石箱や〜」と思ってもらえるよう、もうひとつの図書館を走らせていきたい。

石牟礼道子『苦海浄土』

魂の聖性を探り当てた

「水俣病」というと、若い人たちには遠い昔のことと思えるかもしれませんが。確かに、水俣市で「原因不明の中枢神経疾患」の患者が公式に届けられた「1956年5月1日」から61年になります。でも、いまも患者認定や損害賠償の訴訟が続いています。

九州・水俣に住む無名の作家だった石牟礼道子さんは69年、『苦海浄土——わが水俣病』を出し大きな反響を呼びました。私もこの本によって、水俣病の真実を知りました。水俣病は、新日本窒素肥料の工場から流れ出た有機水銀のため、そばの海の魚を食べた漁民や沿岸の人たちが、中枢神経をおかされ、手足が麻痺し、死んでいきました。当初、会社は非を認めず有機水銀を流し続けます。水俣はこの会社の企業城下町だったせいもあり、患者たちは「奇病」として差別されます。国が公害認定を出すのは、実際の第1号患者が発生（53年）してから15年も経った68年だったのです。石牟礼さんは、「悶々（もんもん）

たる関心と控えめな使命感」から、水俣病患者病棟を訪れ強い衝撃を受けます。それから患者に寄り添い、

わたくしの中に移り住んだ」
父親もすでに水俣病だった李太郎少年を訪れた時には、祖父がそばから言いました。

「わかるかい李。お前やそげん休して生まれきたが、魂だけは、そこらわたりの子どもとくらぶれば、天

また読んでみたい本^⑮

青年たちに

音谷 健郎



【苦界浄土 表紙】

古今東西の文学にはたくさんの名作があります。そんな名作の中から筆者の心に残る作品を今の青年たちにも読んでもらいたいと思います。毎月1冊ずつ紹介しています。

第15回は、石牟礼道子の『苦海浄土』です。もし興味を持ったらぜひ読んでみてください。

筆者紹介：1944年、旧・庄原町生まれ。新聞記者、大学講師を経て現在、庄原市東本町在住。大阪文学学校講師

元凶の会社との闘いに参加します。

立派な漁師顔をした、死に近い老漁師、釜鶴松さんを見舞った時の様子をこう書いています。

「悲しげな山羊のような、魚のような瞳と流木じみた姿態と、決して往生できない魂魄は、この日から全部

地のごつお前の魂のほうがずっと深かわい。泣くな李。爺やのほうか泣こうごたる」

「こやつは家族のもんにいつぺんも逆らうちゅうこつがなか。口もひとくちもきけん、めしも自分で食やならん、便所もゆきやならん。それで

も目はみえ、耳は人一倍ほげて、魂は底の知れんごて深うござす。家のもんに心配かけんごと気い使うて、仏さんのごと笑うとりますがな」

小学校に上がる寸前に発病した目の美しい少女ゆり。母親は言う。

「赤子のときとはまた違う、肌のふくいくとしたよか匂いのするもね。ゆりが魂の無かはずはなかよ。木や草と同じになつて生きとるならば、その木や草にあるほどの魂ならば、ゆりにも宿っておりそうなもんじゃ」

石牟礼さんは、こうした立ち迷う死霊や生き霊の言葉を伝えるために、「近代への呪術師」となろうと決心したのでした。

チエルノブイリ原発事故に際し、果敢に救助にあつた消防士ら救済者や被災者の多数の証言を追った『チエルノブイリの祈り』で、東欧ベラルーシの女性作家S・アレクシェービッチが2年前にノーベル賞を受けました。『苦海浄土』は、患者や親たちの魂の奥深くに入り込んだ作品として、これに匹敵する世界文学だと私は思います。石牟礼さんは、『流民の都』『天の魚——続・苦海浄土』と、水俣を書き継いでいます。

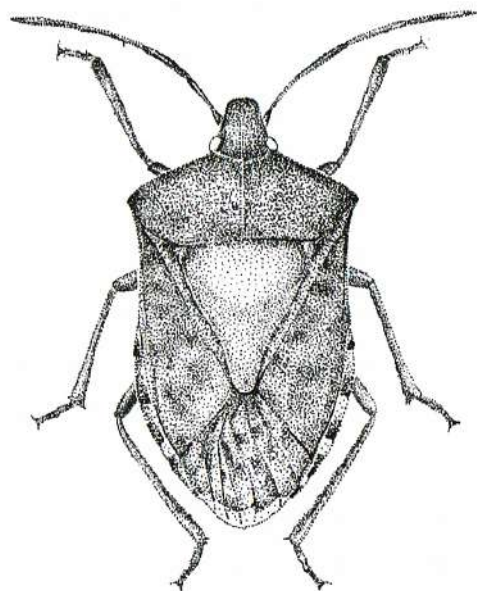
虫と草木と人びとと③ 中村慎吾 「カメムシ方言考」前編

著者紹介…一九三一年、比婆郡（現・庄原市）比和町に生まれる。農学博士（九州大学）。昆虫や動植物などの自然科学、郷土史や民俗学を含めた博物学の研究者で、著書は多岐にわたる。

※中村さんの回想録的なコンセプトで編纂された「虫と草木と人びと」（シンセイアート出版）から、著者の許可を得て、その一部を抜粋、転載しています。

カメムシは、カメムシ（半翅）目の中の、カメムシ科とカメムシ科に近縁の陸生カメムシ（異翅）亜目に属する昆虫の総称である。そして、どの国語辞典でも「かめむし（椿象・亀虫）」と、漢字では椿象・亀虫と表記されている。この漢字で亀虫と表記されているものが訓読みされたもので、イネの害虫であるイネクロカメムシのように黒色で体形が平地

の川や溜池、水田にもみられる爬虫類のクサガメ、漢字で書くと臭亀に似ているものが多いところからカメムシという呼び名が生まれたという。広島県のカメムシの方言はハットウジ系である。このハットウジ系の代表格はクサギカメムシで越冬のためしばしば家屋内に浸入し、都市近郊の里山林を開発して造成された団



クサギカメムシ（中村原図）

地では大量のクサギカメムシが侵入して不快昆虫として駆除されている。クサギカメムシは多食性でダイズ、ササゲなどのマメ類や、ミカン、カキ、ウメ、ナシ、モモ、サクランボ、ビワ、リンゴなどの果実を吸汁し、広島県のミカン、ナシやリンゴの栽培地で多くの被害を与えている。

和名クサギカメムシとはよく名づけられたもので、和名の意味は「臭木亀虫」、臭木とはクマツツラ科の落葉広葉樹、クサギで、この葉をもんで匂いを嗅ぐと洗濯石鹼に似た特有の臭気を持っている。方言でクサギナ（臭木菜）と呼び、若芽を摘んで茹でた上、乾燥させて保存し、お盆の料理にかつては欠かせない一品であった。

クサギは里山が伐採されると最初にパイオニアとして伐採跡地に入る植物で、里山が二次林になるとクサギは消えていく。里山の樹木を薪炭

材として伐採しなくなった現在、その跡地へクサギが芽生えることもなくクサギの若芽を摘むこともなくなり、クサギナの料理を口にするのもできなくなった。

クサギカメムシなどの成虫は、後胸腹板に臭気のもととなる液体を放出する一対の分泌腺（臭腺）が開口し、それに続く蒸発域が存在する。

クサギカメムシなどが放出している悪臭は、人間にとって不快感を催すだけで分泌物が皮膚についても炎症を起こした例は全くない。カメムシ類が放出する臭気物質はさまざまで、最も共同的に存在する物質はトランス・2・ヘキセナルという物質であるという。このトランス・2・ヘキセナルを基礎に多くの場合、いくつもの化合物を混合して臭気物質としているという。そして、この臭気物質は警戒フェロモンとしての働きがあり、群れをつくって生

活しているカメムシの場合、天敵に対する間接的防御という働きを持っていることが解き明かされているし、また、集合フェロモンとしても機能していることも解明されている。

クサギカメムシを代表格とするハットウジ系の方言は、岡山県と広島県を中心に鳥取県と島根県に分布している。岡山県の俗謡に「おっあんどこなら八塔寺 モンパのモモヒキ ぬうーきいーか しらみがわいたらかあーいいか」とか、「おっつあん どこなら 八塔寺 紋羽の股引きやくー くーさえーぞ シラメがわえーたらかーいーぞ」で、後者の俗謡の意味は「おっつあん（おじさん）はどこの人、八塔寺の人か？ おっつあんの紋羽で作った股引は洗濯もしないので汚れて臭いぞ（そのように洗濯もせずに不潔にしている）虱しらみがわいたらかゆいぞ」である。この俗謡は八塔寺はつとうじが一八七一年（明治四年）の廃藩によって「寺領を失い、困窮した寺僧たちは近辺の山中より薬草を採取し、近隣諸国へ売りさばいた。道中の費用を節約するため宿屋に泊らず、野宿を続けた。そのため、僧衣は汚れ、汗と垢のため異臭を放った。これから臭い虫を

八塔寺の坊主のようだと意図から臭い虫：ハットウジ：カメムシとなった」といわれ、一九八二年に発行された岡山県勝山町史（後編）に「ハットウジ 亀虫の臭いもの 八塔寺を語源とする」とある。

（次号に続く）
※モンパ（紋羽）は布地の質が粗で柔らかく毛の立った綿布の一種。

どら書房 委託販売コーナー

★「天馬書林」

新書の教養書と戦争関連本、ノンフィクションが充実。

★「サワちゃん文庫」

中国、日本の歴史書、思想書が中心のラインアップ。

各専用棚で好評販売中！



【売ります!!】

業務用冷凍庫。希望販売価格 3,500 円。

大きさは縦 85 センチ、横 38.5 センチ、幅 60 センチ。製造年月日は不明。内部の底に少し錆が出ていますが、使用するのに支障はありません。内カゴもついていて、たくさん冷凍することができます。庄原の近隣であれば配達可能。

連絡先：アカガワ ☎090(9913)3052

【買います!!】

絵本、郷土史関連本、高価購入。とくに郷土史関係の書籍は、ガリ版刷りであったり、製本が手作りであったりと見栄えはよくありませんが、貴重な資料が含まれていることがあります。棄てる前に一度ご来店ください。

連絡先：どら書房 ☎090(9913)3052



【あげます!!】

家庭用の椅子式ポータブルトイレ。母親の介護で 10 年間使用したのですが、まだ十分に使用できます。庄原の近隣であれば配達も可能。

連絡先：アカガワ ☎090(9913)3052

※掲載無料、みなさまの情報を募集しています。

「まちなかパトロール隊、山本五郎……」

名刺を見た男が視線を上げた。ひよろりとした瓜実顔で、気弱そうな目をしている。

「わたしは個人営業のセールスマンでして、名刺もございません」

そうやって丁寧な頭を下げた。まあ一杯、とビールをコップに注いでやると、根が好きなのだろう、口の方をコップに近づけて、ゴクゴクと一気に飲み干した。

「これは地ビールですか？ 独特のコクがあって、実に美味しい」

ツマミを勧めると、嬉々として箸を取った。

「これは、鮎寿司ですな」

一切れつまんで、口に運んだ。

「おからを酢飯のかわりに使っているのですな。鮎の旨味が滲み込んで、たまりません」

注いでやったビールをまた飲み干した。

「三次は確か、稲生物怪録の舞台になったところでしたね」

江戸時代の中期、当時十六歳だった実在の三次藩士、稲生平太郎が体験したという怪異譚だ。肝試しにより妖怪の怒りを持った平太郎の屋敷に、さまざまな化け物が三十日間連

続で出没するが、平太郎はこれをごとく退け、最後には魔王のひとりから勇気を称えられ木槌を与えられる、という物語。

「わたしはしがいないセールスマンですが、全国を歩いていますと、不思議な経験をしたことがあります。こうして酒席を共にする機会を得られたのも何かのご縁、ひとつ話を聞いて

「おかえりなさい」

そう言われて、まじまじと奥さんの顔を見た。

「お疲れになったでしょ。お風呂にしますか？ それとも食事になさる？」

鞆を取り上げられて、背中を押されるようにして家上がりしました。

ふと気づくと、シルクのパジャマにピロードのガウンを羽織って、食堂

す。学校の出来事を楽しそうに話してくれます。まるでドラマの中の世界です。ああ、自分は夢をみているんだ。そう思いながら、馴れないワインにすっかり酔ってしまいました。

しかし、翌朝になって目が醒めても、夢は消えません。朝食を済ませて、奥さんに促されるままスーツに着替えました。あつらえたようにわたしの体形にぴったりです。迎える車がきました。

「社長、おはようございます」
初老の運転手にそう言われて、黒塗りの大きな車に乗り込みました。もうやけくそです。偽物だとバレたらバレたときのことです。しかし、社長室に入って驚きました。壁に歴代の社長の写真が掲げられているのですが、いちばん端の顔写真はどう見てもわたしの顔です。

※県北の歴史や風物を題材としたファンタジー小説です。

「三次物怪奇譚」

もののけ

あきふゆひこ
亜木冬彦

現代御伽草子⑭

いただきますでしょうか」

男は自分でビールを注いで、グビりと喉を潤した。

立派な門構えの家でした。きれいな奥さんでね。女優さんでも、あんな美人は見たことがありません。女ざかりの四十前後、たぶんわたしは見惚れていたんでしょうね。

のテーブルについている。目の前には、豪華な料理が並んでいます。

「どうぞ」
奥さんがワインを注いでくれる。なんだか黴臭い味がしたんですが、値段が高いつてことは、古びたボトルを見てわかりました。

高校生と中学生の美しい娘がいて、わたしのことをパパと呼んでくれます。

世の中には顔が似た人間が三人いるといいますが、この社長とわたしは、行方不明にでもなっているのでしょうか。でも、いくら顔がそっくりでも、すぐに化けの皮がはがれてしまふと思いました。わたしは会社や社員、仕事のことを何も知らないのです。



しかし、社長業というのは楽なものですね。書類に判子を押すだけ。たまに会議に出ても、黙って話を聞いているだけです。有能な部下が全部やってくれます。家に帰ったら美人の妻と素直でかわいい娘が待ってくれている。夢にみていた理想の人生です。

えっ、夫婦生活ですか？ 寝室が別だったんで安心していただけのですが、ある夜、ノックがするのでドアをあけたら、奥さんが悩ましいネグリジェ姿で立っていて……。ええ、

何も問題はありませんでした。奥さんは満足してくれたようです。わたしは大満足、このまま昇天してもいいと本気で思いました。

どうしてもとのセールスマンに戻った？ ああ、わたしにもよくわからないんです。ただ、不安だったんだと思います。朝になったら夢から醒めて、またしがないセールスマンに戻っているんじゃないか。そう思うと、心配で心配で仕方がない。すっかり不眠症になってしまいました。

あるとき、クローゼットの奥に、くたびれた背広と靴を見つけました。なんだか懐かしくなって着てみたんですが、すっかり痩せてしまってダブダブです。昔のことを思い出そうとしたのですが、霞がかかったようにぼんやりしている。

わたしには離婚した女房とまだ小さい男の子がいたはずですが、ふてぶてしい女房の顔も、生意気盛りの息子の顔も、ぼんやり霞んでしまっている。衝動的に靴を抱きかかえて、家の外に飛び出してしまいました。たぶん、器じゃなかったんでしょうね。もとのセールスマンに戻って、ホッとして自分がいるんです。何を売っている？ ああ、しゅん

せんがんです。季節の春に仙人の仙丸薬の丸。センザンコウというアリのクイに似た動物がいますね。その鱗が媚薬として効果が高いんです。今はもう滅多に手に入れることができない希少品です。どうです一つ、試してみませんか？ 今夜は大変なことになりますよ。

突き出した手がぶるぶると震えた。お地蔵さんが笑っている。手にした缶を投げ捨てると、丸まっていたダンゴムシがモゾモゾと動き出した。

男は顔を顰めると、草叢の中にゲーゲーと胃の中のを吐き出した。ひどい臭気が周囲に満ちた。

「犬の糞と小便か」
袖で口を拭って空を見た。厚い雲の隙間から、上弦の月が覗いている。明日は雨になりそうだ。

「梅雨時は、またどつかでヤドカリして、のんびり過ごそうと思ってたんだが……」

ニヤリと笑った。
「おれさまをたぶらかすとはな。この土地の魔物は手強い。余所に行くか」

顔の皮を剥ぎ取ると、ヒキガエルの顔が現れた。

まつの古本屋さん どら書房

古書探索の旅に、お気軽にお立ち寄りください。

- ・無料本、百円本、50円本などのコーナー。無料の漫画ルームもあります。
 - ・地元のポストカード、新鮮野菜の店頭無人販売もやっています。
- ※九日市の開催日は定休日でも開店します。

- 庄原市中本町 2-1-10
- 定休日：毎週月・火曜日
- 営業時間：9:30~19:00
- TEL：090(9913)3052

※広島銀行庄原支店の手前（三次側から）※交差点角のまちなか駐車場が使用できます。

< 広告料 1/4 ページ 1 回 2,000 円 半年間 9,000 円 1 年間 1,5000 円 >

今月の3冊

どら書房の店主が毎月オススメ本を3冊選んでご紹介します。

「猟師の肉は腐らない」

小泉武夫 著 新潮社

世界中の珍味、寄食を味わった「食の冒険家」が紹介する究極の猟師飯。福島 mountain の山奥、八溝山地。電気も水道もない小屋で、猟犬のクマと暮らす猟師の義っちゃんの食材は、野兎、猪、岩魚や山女、ドジョウ、蝉、屁っこき虫の幼虫、カブトムシの幼虫、蜂の子等々、自然のものばかり。大学教授で農学博士の「俺」の土産は、粕取焼酎と飛魚のくさや、義っちゃんの大好物



だ。大いに飲んで唄って、豊饒の山の幸を食べまくる。「兎でも何でも生きものはよ、捨てるところなんかなにもねえのよ」
「それを捕って食う時によ、あなたの命をいただきさせていただきますっていう、感謝の気持ちが人間には大切なんだと俺は思うぞい」

「人間失格」

太宰治 著 新潮社

高校生のとき、思春期のアレルギーで心を真っ赤に腫らしていた頃に出会った。「恥の多い生涯を送ってきました」という一文から手記は始まる。「自分には『空腹』という感覚はどんなものか、さっぱりわからなかったのです」。「子供の頃の自分にとって、最も苦痛な時刻は、実に、自分の家の食事の時間でした」。当時、血縁のない祖母とふたりで暮らしていたわたしの心に、言葉が沁み込んできた。自分と同じような人間が存在している、そう思うことで救済されたのだ。



この小説の後半は、太宰治の自殺後に発表されたという。遺書替わりだったのかもしれない。

わたしが最も影響を受けた作品であり作者である。

「at Home」

本多孝好 著 角川書店

家族をテーマにした短編集。「at Home」の家族はとりわけ異色だ。父親が空き巣で母親が結婚詐欺師、息子が身分証の偽造屋の犯罪一家。でも、心根はすこぶるアットホームなのだ。わたしのお気に入り「リバイバル」、ヤクザに妊婦の外人と偽装結婚させられた五十男の物語。「天国を追いだされた者は地上に降りればいい。けれど地獄を追い出された者は？どこへ行けばいいのだろうか?」、中年男の嘆息が身につまされる。



ハードボイルドタッチの乾いた文体で、情感溢れる物語が紡がれてゆく。やさぐれて、ひねくれているのに優しい男達。本多孝好、寡作だが外れのない作家である。

どら書房 << 貸本屋システム >>

- ・ 店内で販売した本は、どら紙幣（店内専用通貨）であれば半額、現金であれば3割で買戻します。※破損や汚れがあれば値引
- ・ 書籍購入⇒読了⇒どら紙幣と交換⇒新たな書籍購入、貸本のような感覚でご利用ください。

どろろくろ俳壇

※投句を歓迎します。

燕の子狙う鴉のテロリスト

近藤昌平

来世もこのふかふかの夏帽子

原博己

風薫る門口に犬ふせて待つ

片岡正人

終日を一畦づつひねもす ひとうね たすきの田鋤かな

隆愚

烏鳴き雛を食われし親燕

赤川冬人

投稿&寄稿

「鳩笛」

富久光

「やっと、鳩笛が出来ました

音を聴いてください」

何度も失敗して初めて音の出た素焼

きの鳩笛が嬉しくて

受話器に向かって吹きました

「なんだか寂しい音だね」

ぼつり一言云ってくれた出井智恵子

先生

その年の秋

智恵子先生は突然白血病で亡くなら

れました

私の寂しい鳩笛の音も年を経て

寂しい音でなくなりました

表情も焼き色もすっかり変わりました

た

「やっと鳩笛らしくなりました

音を聴いてください」

相手の居ない受話器に向かって

吹きました

「衣がえ」

M・A

五月になっても寒い日があって、
いまだに炬燵をしまうことができない
のだが、日中の気温がどんどん上
がってくると、さすがに長袖はしん
どいなと思うようになった。ヒート
テックの長袖とタイツに、ようやく
オサラバする時期がきたようだ。

その前に、筆筒の引き出しの中を
入れ替えないと着るものがない。し
かし、どうしてこんなに衣類が増え
たのか。半分以上はまったく着るこ
ともなく、再び筆筒の肥やしになっ
てしまう。その筆筒の中には、もう
発酵しているような衣類がどっさ
り。値段が高かったものが多く、い
わゆるヨソユキというやつだが、年
齢を重ねるうちにますます着る機会
はなくなっているような気がする。

高松英郎という役者さんがいた。
私達の年代では、テレビドラマの「柔
道一直線」での「講道館の鬼車」こ
と車周作役が印象深い。その高松英
郎さんが対談番組に出ている、「スー
ツしか持っていないので、ちょっと
した買い物で外出するにも、三つ揃

いのスーツを着ています」と言ってい
いたのを思い出した。昔の人はお
しゃれをするという感覚は乏しく、
衣類も実用一点張りだった。

猫はいいなとつくづく思う。暖か
くなれば、冬毛が抜け替わって「薄
着」になる。さすがに夏場はしんど
そうだが、涼しい場所で寝そべって、
あまり動かないようにしている。

乾布摩擦でもして、肌を鍛えてみ
るか。……たぶん、三日坊主だな。

今月のどろろさん



絵・風太

庄原遺跡探訪

四隅突出型墳丘墓 その3

よすみとつしゅつかたふんきゅうぼ

文責・寺岡隆行

主な四隅突出型墳丘墓と長方形墳丘墓、方形墳丘墓の地域と築造時期

西暦	弥生時代	三次・庄原地区	伯耆	出雲	石見
紀元前一世紀	中期後葉	宗祐池西 1 号墓 殿山 38 号墓 陣山墳墓群 佐田峠 5 号墓 (方形) 佐田峠 4 号墓 佐田谷 3 号墓 (不明)			
紀元一世紀	後期前葉	佐田峠 3 号墓 佐田谷 1 号墓 佐田峠 1 号墓 (長方形) 佐田峠 2 号墓 (長方形) 田尻山 1 号墓 佐田谷 2 号墓 (長方形)	洞ノ原墳墓群		順庵原 1 号墓
	後期中葉		阿弥大寺墳墓群		
	後期後葉		宮内 1 号墓	中野美保 1 号墓 西谷 2、3 号墓 仲仙寺 9、10 号墓	
	終末期	矢谷 MD1 号墓		西谷 4 号墓 安養寺 1、3 号墓	

※長方形、方形と表示したものの以外は、四隅突出型墳丘墓です。

詳しい事が知りたい方は、庄原市教育委員会生涯学習課文化財係にお問い合わせをしてください。

比婆山のイザナミノミコの御陵や帝釈峽の縄文時代の遺跡群、庄原市の一連の文化財等を、将来、歴史的観光資源として、PR することが望ましいと考えています。

佐田谷、佐田峠墳墓群の発掘作業の趣旨に賛同して、作業にご協力いただいた地域の方々に、労務調整役として感謝申し上げます。

宮内史蹟マップ作成委員会が発行している「宮内の史蹟マップと解説書」に興味のある方は、送料実費で贈呈いたします。

連絡先：〒727-0007 庄原市宮内町 91 番地 寺岡隆行

TEL&FAX：0824-72-2793

どらくろお 掲示板

地域のイベント情報やメンバー募集など
情報掲示板です。

- 一 硬式テニス参加者募集 一
- MTEC (Miyoshi Tennis Enjoy Club)
- 場所：三次運動公園の屋内&屋外コート
- ・火曜日 (9:30 ~ 12:00)
- ・水曜日 (9:30 ~ 12:00)
- ・土曜日 (12:00 ~ 14:00)
- 連絡先：中川 (☎080-5610-2376)

陶芸 教室

洲澤陶芸教室 (電動ロクロほか成形全般)

- ・ 県大前教室 (0824-72-0686) 月謝 2,000 円
金曜日 (毎週) 午後 1 時 ~ 4 時 30 分
 - ・ 敷信自治センター教室 (0824-72-0571) 月謝 1,000 円
木曜日 (第二、第四) 午後 1 時 ~ 4 時 30 分
 - ・ 庄原小学校前教室 (0824-72-1074) 月謝 1,000 円 (月 2 回)
月曜日 ~ 水曜日 (希望する日) 午後 1 時 ~ 4 時 30 分
- ※詳しくはお電話ください。0824-72-1074 (夜間を希望)
洲澤悦二 (庄原市西本町 2-11-19)

《情報 & 原稿を募集します!!》

- 仲間募集
- 教室 & 講座案内
- イベント情報
- あなたの大切な本の紹介
- ボランティア・ライター (現地記者) 募集!

※応募先はどら書房・赤川まで。
掲載は無料です。

どらくろお ホームページ

バックナンバーも掲載して
いるので、ダウンロードして
お楽しみいただけます。



<http://shobara.wix.com/dorakuroa>

「庄原さとやまオープンガーデン 2017 春」開催中!

今年から登場の「庭めぐり御朱印帳」も好評です。
各庭のイラストが描かれた記念スタンプを、手拭い製の御朱印帳に押し
ながら、個性あふれる庭を巡ります。

開催期間：4月8日(土) ~ 6月11日(日)

問い合わせ先：庄原市観光協会 (0824-75-0173)

発行：どら書房
〒727-0012
庄原市中本町 2-1-10
☎090(9913)3052 (赤川)
e-mail: touzin@sannet.ne.jp
年間購読料：2,000円(郵送費込)

誌面デザイン：ROUTE183
協賛：九日市愛好会

編集後記

◇「山里民生委員物語」
後編は、個人情報、特
定できないように、地
名等の固有名詞はすべ
て除かせていただきま
した。表紙の絵の作者
は、庄原の水彩画グ
ループ「水庄会」の中
心メンバーとして活躍した寿
山五朗さん(故人)。ふるさ
との田園風景への慕情が溢れ
ています。
◇どら書房に、今年もツバメ
が来てくれました。これで三
年連続になります。ヒナが
孵ってさあこれからという
きに、朝になって確認したら、
天井の巣が壊されて、四羽の
ヒナの姿が消えていました。
たぶん、犯人はカラスでしょ
うね。これも自然の理(こと
わり)なのでしょうが、がっ
くしです。

第197回 ひょうばらくんちいち 「庄原九日市」

平成29年

6月9日 (金) 9:00~13:00

庄原九日市とは？

天正年間（440年前）に物々交換で始まった市（いち）。
昭和年代の戦争で途絶えていた市を、市街地活性化ボランティア活動として空き店舗などを活用し2001年に復活。

TOPICS

★市民ギャラリー「アート多愛夢」

➡第9回 里呼織工房展

6月8日（木）～10（土）10時～16時

★どら書房

➡月曜日と火曜日はお休み

★風龍

➡九日市スペシャル！餃子200円！

出店配置図



- | | | |
|--|---------------------------------------|--|
| ① すけあくろう | ⑤ ちくちくはうす玉手箱
工房アム | ⑫ よりんさいコーナー |
| ② ギャラリー三村 | ⑥ やまのおみやげや
ROOM OF KEIKO
めだかの学校 | ⑬ 吉備路花田FF
くんえん工房 香豚
ハナピラタケ広島
山本水産 |
| ③ 庄助
とらぢ
二八そば加工所
アーミュシュ
佐藤食販
さだっこ
リトルマーメイド
健康企画グループ | ⑧ アパレルゴトー | ⑭ 阿波屋刃物 |
| ④ 柳家
郷屋 | ⑨ まなべ商事 | ⑮ 宮川屋
佐藤園芸
砂田海産
田崎屋 |
| | ⑩ 克國水産 | ⑯ どんぐり〜ず
お福 |
| | ⑪ 前場衣料 | |

出店申込みは、【毎月20日締切】コンパネ1枚スペース1,000円～ 九日市愛好会事務局 〒727-0013 庄原市西本町2-1-10 楽笑座内
TEL/FAX (0824)72-8285 ホームページ <http://www.kunchi-ichi.jp>